

## 2023年度 小委員会活動成果報告

(2024年1月31日作成)

小委員会名	音環境規準検討小委員会	主査名：田中学 就任年月：2023年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (音環境運営委員会)	委員長名：大岡 龍三 主査名：池上 雅之
設置期間	2023年4月 ～ 2027年3月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	日本建築学会環境基準(AIJES)の作成・展開が円滑となるための支援 初年度：集合住宅 AIJES 刊行への支援、事務所 AIJES 刊行方針等の議論 2年度：集合住宅 AIJES 刊行への支援、事務所 AIJES 刊行に向けた取組み 3年度：集合住宅 AIJES 刊行への支援、事務所 AIJES 刊行に向けた支援 4年度：事務所 AIJES 刊行に向けた支援 各年度共通：新たな AIJES 拡充の議論、既刊 AIJES の定期改定のフォロー	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：田中学 (日本建築総合試験所) 幹事：杉江聡 (小林理学研究所) 平光厚雄 (建築研究所) 委員：池上雅之 (大林組)、石塚崇 (清水建設)、内田匡哉 (内田音響設計室)、岡野利行 (竹中工務店)、古賀貴士 (鹿島建設)、佐久間哲哉 (東京大学)、佐藤洋 (産業技術総合研究所)、清水寧 (S/F Design Lab.)、富田隆太 (日本大学)、中川浩一 (日建設計)、羽入敏樹 (日本大学)、濱田幸雄 (日本大学)	
設置WG (WG名：目的)	集合住宅音環境 AIJES 検討WG：集合住宅音環境の AIJES 案の内容検討	
2023年度予算	55,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：-

項目	自己評価
委員会開催数	5回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第2回公開意見交換会「集合住宅音環境 AIJES 検討WGでの2022年度の検討状況と今後の予定」(2023.5.11, 集合住宅音環境 AIJES 検討WG主催) (資料名：公開意見交換会(第2回)資料 参加者数 59名) 2. 第82回音シンポジウム「集合住宅の音環境性能に関する AIJES 策定に向けて」(2024.3.1開催予定) <span style="float: right;">参加者数 119名</span>
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2023年度には以下の活動を行い、当初の目標を達成した。 1. 集合住宅音環境 AIJES の刊行に向けて、傘下WGでの検討を進めた。また第2回公開意見交換会および第82回音シンポジウムを開催し、検討状況を報告して意見聴取した。次年度の刊行委員会の設置につなげた。 2. 事務所音環境 AIJES の作成に向けて具体の検討を開始した。また既刊 AIJES の内容と今後の改定予定を委員間で共有したほか、新たな AIJES の拡充に向けて音環境 AIJES の全体像の整理と整備方針を議論した。
委員会活動の問題点・課題	

- \*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- \*中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

## 2023年度 小委員会活動 自己評価

(~~中間年度評価~~・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>2023年度は以下の通り、当初の活動計画を全て達成する活動を行ったので、総合評価Aとした。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集合住宅音環境 AIJES の刊行に向けて、傘下 WG での検討を進めた。また第2回公開意見交換会および第82回音シンポジウムを開催し、検討状況を報告して意見聴取した。次年度の刊行委員会の設置につなげた。</li> <li>2. 事務所音環境 AIJES の作成に向けて具体の検討を開始した。また既刊 AIJES の内容と今後の改定予定を委員間で共有したほか、新たな AIJES の拡充に向けて音環境 AIJES の全体像の整理と整備方針を議論した。</li> </ol>			

- 総合評価は4段階 (A>B>C>D) にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的评价・外部評価(シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など)に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。